



人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

人類に
奉仕する
ロータリー

国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

Rotary International

週報

「ロータリーを实践し、手をつなごう」



国際ロータリー第 2750 地区多摩中グループ
東京国分寺ロータリークラブ

2016～2017 年度 会長 小川 泰正
Vol51 No.26 平成 29 年 1 月 17 日

第2444回 例会 報告 — 1 月 17 日 —

会 場 : 多摩信用金庫国分寺支店3階

本日の司会 國松 SAA 副委員長

開会宣言・点鐘 小川 会長

ロータリーソング 『奉仕の理想』

○ソングリーダー : 酒井会員

お 客 様 紹 介 小川 会長

- 小山 善治 様 (東京昭島RC)
- 新藤 信之 様 (東京立川こぶしRC)
- 長田 宇功 様 (東京立川こぶしRC)
- 竹内 幸雄 様 (東京立川こぶしRC)
- 長坂 博隆 様 (東京立川こぶしRC)
- 山田 修平 様 (東京立川こぶしRC)
- 山口 達夫 様 (東京立川こぶしRC)
- 赤木 建治 様 (東京武蔵国分寺RC 会長)
- 田中 良人 様 (東京武蔵国分寺RC 副会長)
- 松田 博 様 (東京武蔵国分寺RC 幹事)

会 長 の 時 間 小川 会長

みなさまこんにちは。年も改まり会長就任から半年が過ぎて、会長所信を改めて読み返しました。「皆さん手をつなぎましょう」と謳わせて頂いております。入会当時違和感を感じた手をつないで歌うこと、幼稚園や小学校低学年でしか記憶にないことをこの年でやるのかと思ったからです。しかし会合終了時に手をつないで歌い終わったとき、こみ上げてくる仲間意識に感嘆しました。1952年、日本のロータリーが西と東の二つの地区に分かれる時にこの歌が歌われたのが最初だということです。友情を確かめ合い、手に手をつないで行こうと誓い合ったそうです。さて、最も大切なのは人脈づくりだと公言する人がいます。人間関係は大切です。人の出会い関わりも大切です。しかし人脈と称するのには抵抗があります。自分の役に立ちそうな人だけを選んで人間関係を作るといったイメージが私にあるからです。ずる賢い生き方に思えるのです。政治家や芸能人に積極的に近づこうという人もいます。カッコよくないですね。相手の地位や名声を利用するのはどうかと思います。利用するのではなくお互いが影響し合えるような関係が理想的ではないですか？こちらが困った時、お前の為ならといってかけつけてくれる人が沢山いたら素晴らしい事です。類は友を呼ぶと言いますから、人は自分に見合った人と出会うものなのです。与えられるより与えるものが多いくらいの人間関係がちょうど良いのではないのでしょうか。又、そのくらいの心構えでいた方が結果的には良い人間関係に恵まれるように思います。



今日、立川こぶしRCのロータリアンが駆けつけてくださいました。そして3月は武蔵国分寺RC25周年記念例会です。我がクラブも全員登録で駆けつけます。こんな積み重ねが人生であろうし人生を豊かにするものと私は確信します。皆さん手をつなぎましょう。

◇東京武蔵国分寺RC

赤木建治会長・田中良人副会長・松田博幹事

25周年記念例会のご案内です。3月6日(月)、パレスホテル立川、17時点鐘、通常例会の拡大版です。親クラブの皆さまの全員登録をお願いいたします。



◇東京立川こぶしRC 新藤 信之 様

立川こぶしRCから6名、昭島RCから1名、計7名でお邪魔しました。昨日、来年の国際RC会長から来年のテーマが発表されました。「Rotary: making a difference(変化をもたらす)」です。昨年の審議会で例会、出席、会員身分の柔軟性が採択され、各クラブが自由に決めてもよくなりました。しかし、世界中のRCがバラバラになる危険性があります。各クラブは自主性を持ち運営する責任があります。



幹 事 報 告

原 田 幹 事

1月理事会に於いて、市川英寿会員の退会が認められました。



委 員 会 報 告

出 席 委 員 会

富 永 委 員

会員数: 45名 免除: 5名

メーキャップ済: 5名 欠席: 4名

出席率: 90 %

《前々回の訂正》 なし

二つお願いです。出席率が低下しています。

①メーキャップをお願いします。②出欠の返事を必ず提出してください。出欠の予定が変更した場合も連絡してください。出席免除の皆さまも同様です。



ニコニコボックス

中村親睦委員長

小山善治様（東京昭島RC）、新藤信之様・長田宇功様・竹内幸雄様・山田修平様・山口達夫様・長坂博隆様（東京立川こぶしRC）：新年あけましておめでとうございます。本日は大勢でお邪魔し申し訳ございません。

小川会長よりお願い致します。赤木建治様・田中良人様・松田博様（東京武蔵国分寺RC）：本日は25周年記念例会のご案内に伺わせて頂きました。親クラブのみなさまの全員参加宜しくお願い致します。小川会長・原田幹事：論語に「朋遠方より来る有り又楽しからずや」とあります。本日は多勢のお客様に来訪頂きその心境であり、感謝申し上げます。又本日は山田明弘会員イニシエーション・高相会員卓話、有意義な例会になります様ニコニコ致します。田中会員：武蔵国分寺RC創立25周年の成功を祈ります。馬場会員：あけましておめでとうございます。本年も会員の皆様が、ロータリーを通じて良い年になります様祈念してニコニコします。高相会員：久々の出席で卓話をさせて頂きニコニコします。中村会員：武蔵国分寺RCの方々と明日から二泊四日でカンボジア親善大使派遣プロジェクトに参加します。



◇ニコニコ大賞：小椋会員

満60年の結婚記念日です。

12月14日は赤穂浪士討ち入りの日です。



◇記念ニコニコ：（写真左より）

小椋会員・小川会長・穴戸会員・林会員・井澤会員・神尾会員



イニシエーションスピーチ

◇山田明弘会員

森事務所は入社6年目。営業全般、円滑な支店運営の支援、顧客対応の推進がおもな仕事で、入社当時は採用や新入社員研修などにも関わっていました。出来ることは何でも一生懸命にやる事で、事業拡大の片棒を担いでまいりました。皆様のお陰と社員の努力で入社時は本社以下3支店65名から、本社以下10支店、建築会社、横須賀の測量会社を傘下に入れて総勢150名にまで成長する事が出来ました。今年は、早々に川崎支店と城南支店の統合。南浦和支店の事業拡大に着手しております。私の生き方はシンプルです。



・挨拶（元気に笑顔で）

・一生懸命（前向きに気合を入れて）

・縁を大切に（縁によって生かされた人生ですので＝皆様に感謝する）

の3つを心掛けております。これからご指導よろしくお願いいたします。

卓 話

◇高相会員

みなさん、こんにちは。高相健一です。久々の卓話でございます。私は平成14年6月18日、東京国分寺RCに入会させていただきました。父と四郎も、生前会員でございました。あとから入会された方も多いので、まずは自己紹介から入りたいと考えます。生まれたのは昭和25年7月23日の寅年でございます。小学校は国分寺市立2小、中学は市立第1中学校、高校は昭島市

東中神にあります都立昭和高校です。そこで、妻美鈴とも知り合いました。大学はというと、理系の有名大学を目指しましたが、残念ながら一浪して東海大学短期大学電気通信工学科に入学しました。当時は、船舶通信技師になり、世界中を回ることが夢でありました。しかし、父も市議会議員をしており、地元に残って稼業の跡を取るようと言われていましたし、妻の両親もきちんとした定職を持たないヤツには娘を嫁にやれん！と申しますので、昭和48年3月より国分寺市農協に入職し、その年の秋に結婚いたしました。平成2年12月に農協を退職し、翌平成3年3月に有限会社さやか企画を設立し、現在に至っております。平成15年4月の統一地方選挙で、父の地盤を継いだ森田正一さんが若くしてお亡くなりになっておりましたので、そのあとを継ぐ形で市議会議員に初当選させていただきました。市議会議員2期目の途中で、都議会議員選挙にチャレンジいたしました。140票の差で次点になり、惨敗いたしました。4年前の都議選に再チャレンジし、大勢の皆様のおかげでリベンジさせていただき、今現在、都議会議員で公営企業委員会の委員長もさせていただいております。通信技師として船乗りになる夢の次に、何で都議会議員になろうとしたかをお話したいと思います。数年前、濱仲幸弘会員が卓話で、新田開発も含めた国分寺の歴史の話をしてと記憶しております。国分寺は、恋ヶ窪村と国分寺村（現在の東元町・西元町であります）と、8つの新田（本多・内藤・戸倉・野中・榎戸・中藤・平兵衛・上谷保）が合併し大きな国分寺市となり、人口も増えてくる中で、昭和15年、町に昇格し、国分寺市となったのは昭和39年東京オリンピックの年でした。そういう意味でも、東京オリンピックには強い思い入れがあります。新田開発がされたのは江戸時代中期から後期であります。大政奉還され明治時代に入っても、行政は江戸時代のままであり、いきなり変わることはありませんでした。国分寺の住民ほとんどは農民であり、ごく一部の商店が存在するだけでした。当時、武蔵野平野の村々は、浅間山の噴火や度々起こる冷害により疲弊し苦しんでおりました。明治3年、江戸時代から続いた農家に対する社会政策（飢饉のための貯穀制度）に反対し、その返還を求めて武蔵野地域12ヶ村が立ち上がり、当時の役所であった品川県庁へ代表者が訴状を持って直訴した事件がありました。この事件で3名が犠牲になりましたが、それらの行動は決して無駄にはありませんでした。明治11年から、その払戻金が農家に支払われることになりました。命をかけて訴え出て犠牲になった3名のうちのひとりが、私の曾祖父、高杉六兵衛なのです。現在の多摩地域の町は、それぞれが財政難の中で首長さんが頑張って市政を運営しておりますが、私は東京都に行って市民の方や市の行政の後押しをするため、大きな夢を持った次第であります。私にも、高杉六兵衛と同じDNAをもった血が流れているからなのでしょう。御門訴事件の話は、国分寺市史（中間）にも、数行ではありますが載っておりますし、光商栄会が発行した「平兵衛新田むかし・今」の中にも掲載されております。この本には、国分寺市内その他の地域の歴史や写真もたくさん載っております。ご自分の住んでいる地域や、会社や事務所のある地域の過去の姿を知っておくのも何かのお役に立つかもしれませんので、是非お読みいただければと思います。以上で、私の卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。



国際ロータリー 第2750地区 多摩中グループ

東京国分寺ロータリークラブ

会 長 小川 泰正 幹 事 原田 雅章

会報委員長 照木 信久 副委員長 尾作 義明

事務所・例会場 東京都国分寺市南町 3-20-3 国分寺ターミナルビル 8 階

Tel.042-322-6480

編 集・印 刷 (株)スプリングフィールド 国分寺市本町 3-8-12 Tel.042-320-5601

URL: <http://www.tokyokokubunjirc.org/>